事務事業評 [様式1] 平成19年度 価 表 平成19年4月4日 記入年月 記入 者 連絡先 042-769-8355 平成18年度部名 保健福祉部 課 名 障害福祉課 課長名 篠崎 正義 名 課長名 平成19年度部名 福祉部 課 障害福祉課 原 修 事 務 事 業 名 知的障害児者介護給付費 知的障害児者介護給付費 予算上の事務事業名 1 総合計画における位置づけ 施策コード 11310 標 「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして 政 策 名 第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります 名第3節 本 施 障害者の自立支援と社会参加 名第1施策 自立した生活を実現するための環境づくり 2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 障害者自立支援法、施行令、施行規則 3 個別計画の概要 概要 障害者を主体とした施策を総合的に推進し、各種サービ 相模原市障害者福祉計画 計画名 スを体系的に提供する。実地計画(前期H10~14、中期 H15~18、後期H19~22) 計画年次 年度 年度~ 22 10 4 事業形態の区分 助成(給付·補助·貸付) **▼** | 5 事業開始年度 平成18年度 • 6 事業概要 (1)事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果) (2)対象(誰、何) 平成18年4月から障害者自立支援法施行に伴い、介護給付費等の対象となる 知的障害者、障害 サービスの提供を受けた障害児者に対し、その費用を給付することで障害児者 児の保護者 の社会参加と自立を図ることを目的とする。 (3)平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。 平成15年度施行の支援費制度に引き続き実施。 平成18年4月からのサービス利用開始のため、1月から支給申請を実施し、3月末に受給者証の交付を行った。 4月からのサービス提供開始後、かながわ自立支援給付等システム(支援費システムを改修)を活用して、 毎月指定障害福祉サービス事業者から支給決定障害者等に対して実施したサービス提供に係る費用の請求を 受け、代理受領方式にて当該費用の給付を実施した。 (平成19年度以降については、身体障害児者介護給付費と一元化し、障害児者介護給付費等としたため、 事業費等は按分したものを計上。) 7 関連事業・類似事業叉は他市の状況 全国で実施。

8	事業費の推移					〔単位:千円〕			
年	度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
事	業費	1,794,887	1,956,632	2,033,770	2,728,022	2,728,022			
	一般財源	914,450	852,607	573,500	821,411	821,411			
	受益者負担金	0	0	0	0	0			
	その他の特定財源	880,437	1,104,025	1,460,270	1,906,611	1,906,611			
人	件費の合計	16,140	16,100	16,100	16,100	16,100			
事	業コスト合計	1,811,027	1,972,732	2,049,870	2,744,122	2,744,122			
9	9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率								
	事業名 (主たる事業名)	施設入所支援事	 業	対象名称 と単位 年間施設入所者延人数					
年	度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度			
	業コスト(主たる事業)	1,833,800	1,907,286	1,788,346	2,014,857	2,014,857			
対	象数	9,001	9,107	10,557	10,000	10,000			
単	位あたり経費(円)	203,733	209,431	169,399	201,486	201,486			
前	年 度 比		1.03	0.81	1.19	1.00			

10 活動指標・・・実施した内容(活動)を数値化したもの									
北海夕	標名 単位 施設入所支援事業(人数) 指標式と 指標の説明 施設入所支援を利用した延人数								
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度				
実 績	9,001.0	9,107.0	10,557.0						
三 目 標	9,001.0	9,001.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0				
目標達成度(%)		101.2	105.6						
	・・もたらしたい♬		で値化したもの						
指標名 と単位 施設入所支援の給付率 指標式と 指標の説明 実績時間数/契約時間数×100									
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度				
実績	100.0	100.0	100.0						
目 標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
目標達成度(%)	100.0	100.0	100.0						
12 個別評価	- (·						
(1) 妥当性の評値			に課題がある・						
			とが義務付けら		- - - 7				
_	☑ ・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。 ☑ ・公益性が高い、または必要性が高い事業である。								
A	✓ ・公益性が高い、または必需性が高い事業である。 □ ・終束にわたって、ま民のニーブや行功需要がある。								
	✓・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。✓・税令を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。								
 (2) 有効性の評値		☑ ・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。 〔 A :有効である・B :有効性を高める余地がある・C :有効でない〕							
(4) HWILVELL			こめに大きく貢献		. /4. / 1)				
1 , †			さく貢献してい						
A					るような成果をもたらしている。				
	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を享受している。								
(3) 効率性の評価			を高める余地が						
		の経費は適正であ							
l A	□ ・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。								
^	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。								
		方法や実施体制は							
(4) 民間活力また	こは市民協働の導 <i>。</i>			する亡が海してし	17				
<u>_</u>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。 ・業務の一部または全部について、市民投働により推進する方が適している。								
無	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。								
····	□ ・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。 ✓ ・市で実施する方が民間委託等をするより適している。								
13 総合評価(-			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	C					
(1) 自動判定結身									
	〔 〕:良	好な状態を維持す							
1		ね良好な状況です							
〔 〕:見直しを行う必要がある事業									
[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業									
(2) 事業所管課長	長による評価(今後		3)事業所管課長 で定められた事業						
	・拡充・充実	*************************************	なで足められた事業 貧通知などに基づき	じめり、広、以マ 適正に実施して	、 自 マ、				
現状維持	▽・現状維持			· ~====================================	• • • •				
	□・見直し								
	・廃止								
	<i></i> が効率性を高める <i>†</i>		15 課題として認識されたこと						
特に無し			特に無し						
4.6 一场流涌									
16 二次評価 (1) 局内評価会議	- 義による評価 (今	後の主白州) [/	つい 一次部価コト	/ \					
(1) 同内計測云語		後の方向性) (2) 二次評価コン	ヘ ノト					
	・拡充・充実								
▍現状維持፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟	・現状維持								
	□ ・見直し □ ・廃止								
	* /#:								